

学生のための国際交流イベントの開催

◆「Nasicカップ 日本語スピーチコンテスト」2022（中止）

ベトナム・ハノイ市での日本語スピーチコンテストは、学生交流会と同様、新型コロナウイルス感染症拡大のため海外渡航が困難な状況から中止としました。参考までに本事業のこれまでの実施状況を掲載します。

回	年度	会場大学	最優秀学生の所属大学	日本招待数	回	年度	会場大学	最優秀学生の所属大学	日本招待数
1	2007	ハノイ大学	ハノイ国家大学、貿易大学、ハノイ大学	3	8	2014	ハノイ大学	ハノイ大学	6
2	2008	ハノイ大学	ハノイ工科大学、ハノイ大学 2	3	9	2015	タンロン大学	ハノイ大学	6
3	2009	貿易大学	ハノイ国家大学、ハノイ大学 2	3	10	2016	貿易大学	貿易大学	12
4	2010	貿易大学	ハノイ国家大学、貿易大学、タンロン大学	3	11	2017	ハノイ国家大学 外国語大学	ハノイ大学	6
5	2011	ハノイ大学	貿易大学、ハノイ大学 2	3	12	2018	ハノイ大学	貿易大学	6
6	2012	ハノイ国家大学 外国語大学	ハノイ大学、貿易大学、ハノイ国家大学	3	13	2019	ハノイ工科大学	ハノイ大学	6
7	2013	ハノイ大学	貿易大学	6	2020 ～22	(中止)			

(注) 最優秀学生を学生交流会訪日交流団の一員として日本に招待（第7回からは最優秀学生に加えて優秀学生も招待）

出版・監修・調査など

◆ 配付（生活環境支援のための資料）

「安全・安心なひとり暮らしマニュアル」

ひとり暮らしをする学生のために、ひとり暮らしのマナーから防犯・防災の心構え、注意事項や初めての部屋探しのポイントまでわかりやすく解説したリーフレットを、要望があった全国の学校を通じて配付しました。（協力：(株)学生情報センター）
<配付部数> 60部



<理事・監事・評議員・顧問>

理事長	田中 壯一郎	元(独)国立青少年教育振興機構 理事長	評議員	浮舟 邦彦	滋慶学園グループ 総長 (学)大阪滋慶学園 理事長
常務理事	木村 晃	(株)学生情報センター 常務執行役員 (一財)学生サポートセンター 事務局長	評議員	大塚 和子	元 内閣官房 事務官 (総理大臣官邸 総理大臣秘書官室担当)
理事	入澤 崇	龍谷大学 学長	評議員	梶野 慎一	元 東京大学 事務局長
理事	小川 哲生	(学)明星学苑 特別顧問(元学長)	評議員	木谷 雅人	(有)国大協サービス 代表取締役社長
理事	木村 孟	東京工業大学 名誉教授(元学長)	評議員	薦田 博	(学)青山学院 常務理事
理事	澤田 康広	日本大学 副学長	評議員	寺島 実郎	(一財)日本総合研究所 会長 多摩大学 学長
理事	平山 喜雄	(学)法政大学 常務理事	評議員	豊田 三郎	元 名古屋大学 理事・事務局長
理事	星野 浩明	東急不動産ホールディングス(株) 取締役 執行役員 東急不動産(株) 取締役 専務執行役員	顧問	青木 靖明	(学)大原学園 名誉学園長
理事	矢口 悦子	東洋大学 学長	顧問	奥島 孝康	早稲田大学 名誉顧問(元総長)
理事	柳谷 孝	(学)明治大学 理事長	顧問	清成 忠男	事業構想大学院大学 顧問 法政大学 元総長
理事	吉浦 勝博	(株)学生情報センター 代表取締役社長	顧問	谷岡 一郎	(学)谷岡学園 理事長 大阪商業大学 学長
監事	徳田 孝司	辻・本郷税理士法人 理事長	顧問	野間 督司	近畿合同法律事務所 弁護士
監事	溝上 絢子	(弁)なにわ共同法律事務所 弁護士	顧問	八田 英二	(学)同志社 総長・理事長

(五十音順 敬称略 令和5年2月現在)

一般財団法人 学生サポートセンター

〒163-0823 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 新宿NSビル23階

TEL : 03-5539-8203 FAX : 03-5539-8233 URL : <http://www.gakusei-sc.or.jp>

一般財団法人 学生サポートセンター

令和4年度事業活動報告

2022(第20回)
**学生ボランティア団体
助成事業**
<体験レポート募集>

目的 学生ボランティア団体の活動体験レポートを募集することを通じて、活動の意義や必要性を情報発信するとともに、自由な発想と行動力によって社会貢献活動を行っている学生ボランティア団体を応援する

応募資格 学生を主たる構成員とするボランティア団体で過去2年以上の活動実績を有する団体の構成員(学生に限る)

応募方法 所定の申込書に、作成要領に沿って作成したレポートを添付して郵送により提出

選考 学生ボランティア活動への支援に関する選考委員会

助成金 一団体 10万円

発表 2022年12月中旬(予定)
(採択結果については、申込者及び学校へ通知するとともに、当財団ホームページに公表)

募集期間 2022年9月1日～10月14日
募集要項、申込書等は、学校担当窓口又は当財団ホームページにてご覧ください

<http://www.gakusei-sc.or.jp>

主催 一般財団法人 学生サポートセンター
E-mail: info@gakusei-sc.or.jp

2022(第20回)
**学生ビジネスプラン
コンテスト**

目的 創造性や意欲に溢れ、自分で考え、自分で行動できる学生を一人でも多く育てること

課題 任意(社会課題の解決に向けた取り組みを期待)

応募資格 大学、大学院、短大、専門学校学生

応募方法 所定の様式をダウンロードし、応募書類を作成の上、Eメールに添付して送信

選考 学生の創造性を涵養するための助成金の支給に関する選考委員会

発表 2022年12月中旬(予定)
(採択結果については、申込者及び学校へ通知するとともに、当財団ホームページに公表)

表彰
最優秀賞 30万円 1点以内
優 秀 賞 各20万円 2点以内
アイデア賞 各10万円 10点以内
努 力 賞 各5万円 10点以内

募集期間 2022年9月1日～10月14日
募集要項、申込書等は、学校担当窓口又は当財団ホームページにてご覧ください

<http://www.gakusei-sc.or.jp>

主催 一般財団法人 学生サポートセンター
E-mail: info@gakusei-sc.or.jp



一般財団法人学生サポートセンター 令和4年度活動報告書

一般財団法人学生サポートセンターについて

一般財団法人学生サポートセンターは、平成15年3月に文部科学省より設立許可を受けて以来、社会常識やモラル向上など、充実した学生生活の実現に向けた講演会活動と学生のボランティア活動への助成、学生の創造性涵養を目的とするアイデアコンテストの実施、国際交流による人材育成等の事業を実施して参りました。
令和4年度の主な活動は以下のとおりです。

講演会事業

◆大学職員向け講演会の開催

講演テーマ：「ポストコロナにおける学生交流と学生支援」
講演者：義本 博司氏（前 文部科学事務次官）
日時：令和4年11月18日（金）15時00分～
場所：新宿NSビル30階「スカイカンファレンス」
参加者：大学教職員等、約50名



学生の創造性を涵養するための助成金の支給

◆学生ビジネスプラン・コンテスト（応募数：56大学等236プラン）

「学生の創造性を涵養するための助成金の支給に関する選考委員会」（委員長代行：田中社一郎理事長）の厳正な審査を経て、下記の18プランに助成しました。

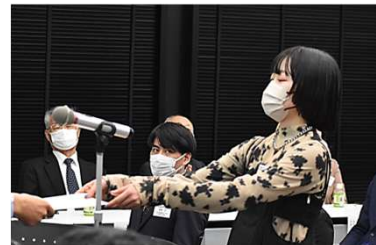
- （選考結果）・最優秀賞（30万円）： 該当なし
・優秀賞（20万円）： 3プラン
・アイデア賞（10万円）： 9プラン
・努力賞（5万円）： 6プラン（計18プラン）

表彰式：令和5年2月6日（月）15時00分～
※学生ボランティア団体表彰と同時開催

	受賞者	（敬略称）
優秀賞	愛知学院大学	坂 晃成、安達 一晟、杉浦 元紀、金坂 泉、鈴木 恵、中島 一哉、柳川 誠太、吉岡 拓海
	崇城大学	林田 ミウ、土屋 琉南
	青山学院大学大学院	中森 聖、神田 彩、小川 真澄、野間 裕登
アイデア賞	龍谷大学	山田 啓太郎、福岡 真帆、小寺 星奈、中山 雄人、藤井 智穂
	名古屋大学	塚本 青美、吉田 昌太郎、池田 優、長嶋 佑哉、尾林 佑哉、上田 稔、熊澤 完介
	福島大学	青野 航河、瓜生 将大、萩須 妃彩、一条 ひとみ、細川 翼
	杉野服飾大学	安部 奏海、齊藤 歩夏
	香川大学	日比野 暖加、片桐 侑也、寺坂 尚起
努力賞	鎌倉女子大学	黒田 優風、増子 智帆、佐山 彩乃、池田 紗妃、井川 実樹、大湊 みずは、松田 のどか
	筑波大学	今村 翔太、逸見 一喜、秋山 馨、渡邊 蒼太
	同志社大学	加藤 喜晴、西村 亮哉、中村 真菜
	同志社大学	服部 伶奈、西森 優華、藤川 菜々花、村上 はるか
	明星大学	目崎 龍星、新岡 宗太、近藤 姫咲
帝京大学	加藤 優里	
関西大学	榎原 礼子、滝井 万葉、光定 晴香	
長岡技術科学大学大学院	中嶋 啓太、南 秀弥	
相山女学院大学	宮尾 悠月、宮野 瑠華、小島 実桜	
京都産業大学	徳山 倅我、香川 亮子、落合 大輔、水谷 春葵	



<祝辞>
文部科学省 高等教育局 学生支援課長 藤吉 尚之氏



受賞学生へ表彰状授与



プラン・活動紹介

学生ボランティア団体への支援

◆学生ボランティア団体助成事業「学生ボランティア団体活動体験レポート募集事業」

新型コロナウイルスの影響により前年度に引き続き、学生によるボランティア団体活動体験レポートの募集を通じて学生ボランティア団体に支援を行いました。応募のレポートについては「学生ボランティア活動への団体支援に関する選考委員会」（委員長：木村孟（元 東京工業大学学長））の厳正な審査を経て、下表のとおり13大学13件のレポートを優れた作品として選考し、関係13団体に助成しました。（助成金 1団体10万円）

（優秀作品）13大学13レポート（うち特に優秀4） 助成学生ボランティア団体13団体（応募数：18大学19レポート）

表彰式：令和5年2月6日（月）15時00分～ ※学生ビジネスプラン・コンテスト表彰と同時開催

学生ボランティア活動体験レポート優秀作品/助成先団体			（敬略略・応募順）
長崎大学	藤吉 加菜	有機農業を通じた地域・環境への貢献	農楽部
天理大学	馬場 美咲	コロナ禍によって生まれた新しい支援の形	ボランティアサークルマンモス
明星大学	藤田 真帆	今だからこそ私たちにできる活動を	明星大学文化会教育研究部
静岡県立大学	野田 葉那	子どもたちが教えてくれたこと	静岡県立大学公認クラブ リトルワールドキャン実行委員会
東京外国語大学	紺谷 有紀	フィリピンでの教室建設 *	学生NGO ALPHA
法政大学	長尾 美紅	積極的なオンライン活動での成果と今後の展望	法政大学ボランティアセンター 学生スタッフ VSP
摂南大学	富岡 まりあ	コロナ禍の大学生による社会奉仕活動を通して	摂南大学ボランティア・スタッフズ
広島女学院大学	西 結香	海の環境保全活動を通じた地域社会とのつながり	HJU SAVE THE SEAプロジェクト
弘前医療福祉大学 短期大学部	遠藤 匠	メディアでは伝わらない災害現場の空気 *	救急救命研究会
名桜大学	石川 淳貴	地域での健康支援活動を通しての成長—地域に学び、地域を創る— *	VAG (The Volunteer Activity Group)
関西大学	中村 泰地	これからの児童文化研究サークル	関西大学同好会 児童文化研究サークル「あかとんぼ」
上智大学	壽 野愛	日本とカンボジアの架け橋	STPカンボジア
一橋大学	岩切 龍聖	地域をつなぐ動力としての学生 *	国立あかるくらぶ

（注）* を付したものは特に優れたレポート



受賞学生へ表彰状授与

ボランティア団体活動紹介

記念撮影

学生のための国際交流イベントの開催

◆「日本・ベトナム学生交流会」2022（中止）

日本・ベトナム学生交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため日本への渡航が困難な状況から中止としました。参考までに本事業のこれまでの実施状況を掲載します。

回	年度	ベトナム 招請学生数	訪問大学	回	年度	ベトナム 招請学生数	訪問大学
1	2003	(22)	ハノイ外国語大学（現ハノイ大学）	10	2012	62	東京大学、上智大学、京都大学、近畿大学
2	2004	(30)	ハノイ外国語大学（現ハノイ大学）	11	2013	55	東京大学、東京理科大学、（以上台風のため取止め）京都大学、関西学院大学
3	2005	17	早稲田大学、文化女子大学、東京大学、京都大学	12	2014	34	東京大学、東京理科大学、京都大学、京都産業大学
4	2006	20	早稲田大学、文化女子大学、東京大学、京都大学	13	2015	27	慶応義塾大学、千葉工業大学、京都大学、神戸大学
5	2007	22	東京大学、文化女子大学、京都大学	14	2016	35	早稲田大学、明治大学、京都大学、同志社大学
6	2008	23	東京大学、文化女子大学、京都大学、同志社大学	15	2017	24	東洋大学、法政大学、京都大学、立命館大学
7	2009	43	東京大学、文化女子大学、京都大学、龍谷大学	16	2018	25	立教大学、芝浦工業大学、京都大学、追手門学院大学
8	2010	32	東京大学、明治大学、京都大学、関西大学	17	2019	23	青山学院大学、京都大学、京都橋大学
9	2011	40	東京大学、早稲田大学、京都大学、立命館大学	2020～22			（中止）

（注1）第1回、第2回は日本の学生がベトナムを訪問して交流会を実施（学生数はベトナムを訪問した日本の学生数）

（注2）ベトナム交流団には招へい学生のほかに政府関係者の団長、副団長及び引率スタッフが同行